

# 愛車に優しい SST Special Service Tool

## Vol.03 ハブベアリング交換



ハブキャリアを外さずにフランジ部分を抜き取るためのツール。見た目には「こまめでやらずに……」と思うほどにゴツイ。



02 Cクリップで固定されているハブ側を抜き取った状態。このフランジを上側のツールで抜き取る。  
01 まずはドライブシャフトを外す。このようにボルトで固定されているデフ側を先に外す。



04 ベアリングの抜き取りに使用するツール。ハブキャリアに当てて、少しずつ引っ張り出す。  
03 フランジを外すと、中にあるベアリングがこのような一部割れてしまう。必ず交換が必要だ。



06 外したフランジに残るベアリングの一部を、SSTを使って抜き取る。これもないと難しい作業。  
05 取り外したホイールベアリング。この小さなボールで、車体を支えていることになる。



08 最後にベアリングにフランジを圧入しているところ。ブレーキ回りとタイヤを取り付けて完了。  
07 04工程の逆の手順で圧入された新品のベアリング。ここでもSSTが活躍する。

ブッシュやマウント交換の時などに用いられる、メーカーが定めた本来のやり方に必要なのがスペシャル・サービス・ツール。狂いなく、他の部分を傷つけることなく進められる、SSTを使った正確な整備とは、どのようなものなのかを探る。

ベアリングの抜き取りや圧入を行なうためのSST。組み方を変えることで、抜き取ったフランジに残るベアリングの一部を、フランジを傷付けることなく取り外すのにも使用する。



### サスアームを外さずに交換が可能なのはこのSSTを使った方法だけ

軽くても1.5トンはあるメルセデスの車体を支えているのが、4つのハブベアリングだ。走行距離が10万キロを超えたくらいから、異音が発生することが多くなる。特にドライブシャフトのあるリア側を交換する場合に、SSTを多用することになるこのハブベアリング。その正しい交換方法を探ってみよう。

作業の手順は、まずドライブシャフトを外し、リアのハブキャリアからハブを引っ張り出す。ここでさっそくSSTの登場だ。ハブキャリアにディスク状のプレートを固定し、そこに6本のボルトで取り付けた専用ツールで確実に、真っ直ぐに引っ張る。SSTなしに無理な外し方をすると、片側20万円近いハブキャリアを歪ませてしまうと大変だ。

外したフランジにはベアリングの一部がくっついた状態になるので、これを取り外すのに上の写真にある

SSTが必要になる。さて、ハブキャリア側に残ったベアリングの大半の部分も、SSTを使って引っ張り出しておかなければならない。カップ状の器具を取り付けて、レンチで回しながら圧入してあるベアリングを抜き取る。

新しいベアリングの圧入にも、当然ながらSSTが必要だ。ハブキャリアにSSTを取り付けて、慎重に押し込む。次はフランジをベアリングのセンターに圧入する作業。これも力仕事ながら非常にデリケートで、曲がった力をかけてしまえば、交換したばかりのベアリングを壊してしまいかねない。SSTの確実性が求められる部分だ。

このように、リアアクスルの整備には多くのSSTが必要になる。ハブベアリングの交換をSSTを使わずに行なおうとすれば、スプリングをスプリングコンプレッサー（これ

もメルセデス専用のSST！）で縮めて、サスペンションアームのジョイント部を全て外し、ハブキャリア単体の状態にしてプレス機に置いて作業する必要がある。当然、サスペンションのアライメントは完全に取り直す必要があるし、とにかく大手術になってしまう。このようなリスクがなく、ベアリングだけを抜き出して再び圧入するという作業は、SSTのある整備工場だけが可能なことなのだ。

一般のユーザーは、工場にクルマを預けたら、作業が仕上がるまでその工程を目にするのではない。しかし、メーカーがそのクルマのために用意したSSTを使用した正確な作業と、あり合わせの道具で何とか交換するようなやり方の差は歴然としたもの。確かな腕と道具が揃ってこそ、まともに整備代を取れる修理工場ということができると思う。

取材に協力してもらったエスファクトリーでは、工賃の計算にディーラーの作業時間設定（フラットレート）を使用している。今回のW124リアハブベアリング交換は、片側2.5時間から（グレードによって異なる）。これに時間単価をかけた金額が基本工賃となる、ディーラーと同じ明朗な仕組みだ。

取材協力：エスファクトリー  
TEL：03-5636-5122  
住所：東京都江戸川区篠崎町7-11-5

割安なOEMパーツを使って、技術の高い整備が受けられる修理工場。人気が高く、いつも込み合っている。



**SSTは門外不出？**  
右上の工程写真でも使用している、リアアクスルのフランジ用ツール。いかにもメルセデスらしく、SSTのつくりも凝ったものだ。

国内のディーラーで販売してもらおうことはまず不可能なSST。基本的に、ディーラーの権利を持っていないと購入することはできない。そんなSSTだが、スピードジャパンでは、協力工場として登録した修理工場には販売することが可能とのこと。導入を検討したい業者は03-3555-8865まで問い合わせを!!